

協会会員
参加費無料

全2回

【先着順】

何名様でも
お申込み
可能です。

令和7年度 能力開発講座 コンプライアンス研修

開催日

第1回 管理職・指導者向け

2025年 **12月1日** (月) 13:00～16:00

申込締切日 11月12日(水)

第2回 一般職(若手・中堅)向け

2026年 **2月4日** (水) 13:00～16:00

申込締切日 1月14日(水)

講師

本田 妃世 氏

新事業経営革新支援センター専門家

小売商業支援センター商業アドバイザー

滋賀県商工会議所連合会専門家

大阪府商工会連合会エキスパート

講師プロフィール

電波新聞社を退社後、経営コンサルティング会社の人材教育部門専属講師、部長職を経て独立。
企業での社員研修、専門学校・大学での就職支援講座講師、組合や団体の講演など人材教育に携わる。
教育コンサルタントとして活動するとともに、全国で講演、研修講師として活動中。

会場

滋賀県職業能力開発協会

大津市南郷5丁目-2-14

TEL:077-533-0850 FAX:077-537-1351

定員

各回 25名

(定員になり次第申込みを締め切らせていただきます)

【対象】 管理職、指導者および候補の方

参加費
無料

コンプライアンスと ハラスメント研修

会員様向け
セミナー
第1回

開催日 2025年12月1日(月) 13:00～16:00

◆セミナーの内容

職場におけるコンプライアンス意識の向上と、ハラスメントの正しい理解を目的として、基礎知識の整理から実践的な判断力の習得までを目指します。

近年は、法令遵守だけでなく、倫理的な判断や適切な指導のあり方がより一層求められるようになってきました。本研修を通じて、日常業務における「ズレ」や「グレーゾーン」をふりかえり、行動の基準を明確にしていきます。

進行スタイルは、できるだけ参加型で進めます。

◆セミナーのねらい

- (1)コンプライアンスとハラスメントの基本を再確認し、職場におけるリスク感度を高める
- (2)判断が難しい事例を通じて、適切な行動や部下との接し方を再確認する
- (3)自身の指導や声掛けのあり方をふりかえり、信頼される関わり方を学ぶ

プログラム

1. コンプライアンスの基本

- 1) コンプライアンスの定義と今必要とされる理由
- 2) 企業が期待に応えなければならない
5つのコンプライアンス
(消費者/従業員/取引先/社会/株主)
- 3) 「誠実義務」と職場のルール
ワーク:ルールではないが守るべき行動とは?
「セーフ?アウト?グレーゾーン?」
- 4) 職場全体でコンプライアンスを
守るための管理職に求められる役割

2. ハラスメントの基礎と境界線

- 1) ハラスメントの定義と種類
(パワハラ/セクハラ/マタハラ/モラハラなど)
- 2) ハラスメントが発生する原因
世代間ギャップ
コミュニケーション不足や無意識な偏見
- 3) ハラスメントの判断ワーク:
「これは該当する?しない?」

3. 適切な指導とコミュニケーション

- 1) 指導とハラスメントの違い
- 2) 適切な指導の仕方
- 3) 振り返りと職場での活用

【対象】 一般職の方

参加費
無料

コンプライアンスと ハラスメント研修

会員様向け
セミナー
第2回

開催日 2026年2月4日(水) 13:00～16:00

◆セミナーの内容

一般職社員の皆様に向けて、職場におけるコンプライアンスとハラスメントの基本を再確認し、日常の言動や判断を見直すことを目的としています。

グレーゾーンの事例や身近な場面を取り上げ、グループディスカッションやふり振り返りワークを通じて、自分と他者の感じ方の違いに気づき、トラブルを未然に防ぐ力を養います。

研修は講義に加えて参加型のワークを取り入れ、実践的で納得感のある構成とし、現場のコミュニケーション改善につなげてまいります。

◆セミナーのねらい

- (1) 職場で求められるコンプライアンスとハラスメントの基本を再確認する
- (2) グレーな言動や受け取り方の違いに気づき、トラブルの予防につなげる
- (3) 自分の言動をふり振り返り、良好な職場づくりに活かす視点を養う

プログラム

1. コンプライアンスの基本

- 1) コンプライアンスとは
- 2) 私たちが守るべきコンプライアンス
「誠実義務」と職場のルール
- 3) 現場でよくあるコンプライアンス違反の例
情報管理/私的利用/虚偽報告
SNSの注意点など
- 4) ワーク: グレーゾーン事例から学ぶ、
判断の基準

2. ハラスメントの基礎知識と最近の傾向

- 1) ハラスメントの定義と種類
(パワハラ/セクハラ/マタハラ/モラハラなど)
- 2) 「冗談のつもり」でも問題になる理由を理解する

3. ケーススタディで学ぶグレーゾーンハラスメント

- 1) 一般職に起こりうる事例をもとに、判断と対応を考える
- 2) 受け手によって異なる「感じ方」の違いに気づく

4. ケーススタディで学ぶグレーゾーンハラスメント

- 1) 身近な言動を振り返るワークと共有
- 2) 明日からの言動に活かすヒントを得る